



Save the Children

発行元:公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン
〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4F

Qクイズ

ヒントは新聞の中に!
一緒に考えてみよう!

セーブ・ザ・チルドレン ニュース

授業料の他にお金がかかり負担が大きくなっているものは?

中高生の教育費の負担はどのくらい?

今、中高生をもつ家庭での、新入学の時の負担が年々ふえています。

どのくらい費用がかかったのか、また政府にどんなことをお願いしたいか、セーブ・ザ・チルドレンの「子ども給付金 ~新入学サポート~」*を利用した世帯に聞きました。

*経済的・生活をするうえで困難がある世帯に、中学・高校の入学のときにかかる費用を一部支援する仕組み



制服代: 中1・高1
どちらも約1万円
上昇



中高生の約8割
「親がお金のやりくり
に苦労していた」と回答



保護者・中高生約7割
「制服・運動着を安く
買える」支援が必要

その他パソコン・タブレット代、教科書・教材費、卒業アルバム代など、授業料のほかにもお金がかかり、家の負担が大きくなっていることがわかりました。

学校指定品をなるべく少なくしてほしい。工業高校で使う特殊な機材なども他社と比較して買えると安いものをみつけれたらありがたい。
(高1の母、ひとり親、30代、埼玉県)

塾にも通うお金はなく、家で勉強するのにも、テキストを買う必要があり、文房具にもお金がかかる。現物支給でいいので定期的にしてほしい。
(長崎県、中1)

保護者・子どもの声

スタッフより

給付金事業のほか、政府や自治体に就学援助などの支援をふやすこと、学用品の見直しと備品化などを求めています。こうした要望を受け、2025年の政府の「骨太の方針」にも学用品の備品化について記載が盛り込まれました。子どもたちがより安心して学べる環境を実現するため、引き続き政府に働きかけていきます。



国内事業部子どもの貧困問題プログラムオフィサー



詳しくはこちら「経済的に困難な子育て世帯の中学・高校の就学費用負担に関する実態調査」



(イメージ)

パレスチナ・ガザ地区のいま

63万7,000人以上
教育をうけられない子ども達

7万人以上
これまでに犠牲になった市民

526校
被害を受けた学校

798人
殺害された教育関係者

2歳未満の9割の子どもが1日2回以下の食事しか摂れない

※2026年1月末時点

セーブ・ザ・チルドレンの活動

アルマさんのストーリー

アルマさん(18ヶ月)の母親であるカメラアさんのお話
「娘はこの2年で2回、急性の栄養不良になりました。食べ物ガザ地区に届かないからです。しかし、この2ヶ月セーブ・ザ・チルドレンの診療所に通い、回復しつつあります。
セーブ・ザ・チルドレンのスタッフは、自分たちも厳しい状況にありながら、とても親切に対応してくれます。」
ガザや西岸地区の事務所には、家族や同僚を失いながらも必死で働くスタッフがあります。日本のスタッフも後方支援や政策提言など、できる支援を日々全力で続けています。



栄養不良の治療を受けるアルマさん



紛争下の教育を攻撃から守る「学校保ご宣言」

キャンペーン報告
日本政府に1万7,479筆の署名を届けました。
たくさんのご協力ありがとうございました。

「あすのコンパス」
学校保ご宣言について詳しくはこちらから

世界のお昼ごはん

ブータンのランチ

見た目はあまり辛くなさそうですが、ここに並んでいる9割は辛い料理でした。国民食のエマダツイ(唐辛子とチーズの煮込み料理)も右奥に見えます。



セーブ・ザ・チルドレン募金活動に取り組みませんか?

子ども・ユース向け募金活動ハンドブックができました。学校の文化祭や授業で、仲間とともに世界を変える一歩をふみだしましょう!

「あすのコンパス」の「参加する」ページよりご連絡ください。

あすのコンパス



100年以上の歴史を持つ、子どもの支援専門の国際NGO。
日本を含む世界約100ヶ国で、子どもたちの今と未来を支えています。

セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む約100ヶ国で子ども支援活動を行う、民間・非営利の国際組織です。
1919年にイギリスで創設されて以来、100年以上にわたり、すべての子どもにとって、生きる・育つ・守られる・参加する権利が実現された世界を目指して活動しています。

www.savechildren.or.jp
セーブザチルドレン 検索



創設者 エグランド・ジェブ

